

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第10回西脇市総合計画審議会
開催日時	平成31年1月18日（金） 午後1時30分から2時40分まで
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター ホール
出席委員の 氏名又は人数	14名
欠席委員の 氏名又は人数	4名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	4名
議題又は 協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 西脇市総合計画・基本計画（案）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回までの議論の整理 (2) パブリック・コメントについて 2 まちづくり市民アンケートについて 3 その他
会議の記録（概要）	
発言者	<p><開会> 資料確認</p> <p><あいさつ> 本日は、これまで分野別に議論いただいていた内容について、計画に反映する作業が進んできたので、それらを取りまとめた基本計画（案）について説明を受け、さらに御意見をいただく。 この計画内容が来年度以降の予算にも反映されることになろうかと思う。審議会も佳境に入ってきたので改めて御協力をお願いします。 なお、本日は14名の委員に出席をいただき、定足数を満</p>
事務局	
会長	

	<p>たしており、会議が成立していることを報告させていただく。</p> <p>< 1 西脇市総合計画・基本計画（案）について > ~(1) 前回までの議論の整理~ 資料1、資料2及び当日配布資料に基づき、事務局から説明</p>
<p>委員</p>	<p>基本構想は、来年度から12年間の西脇市のあり方や行政の進め方を示すものになる。</p> <p>それを前提とした話になるが、西脇市には既に多くの外国の方が来ている。この方々は、技能実習生として最長5年の滞在で帰国し、家族は帯同していない、ということであると思う。</p> <p>ところが、入国管理法の改正で、この4月からはこれまで以上に外国人労働者、そしてその家族も受け入れることになる。現在、本市ではベトナム、中国、ミャンマー等から訪れている技能実習生に国際親善交流協会がボランティアで20人程度に日本語を教えているが、現在でも順番を待っている人が10人程度もあり、外国の方が日本語を勉強するシステムが整っていない。今回の法改正によって、さらに家族も来て、子どもは小学校等に通うことになる。今後、どれだけ外国の方が入ってくるかは分からないが、ある程度、そういうことも踏まえて学校教育等についても考えておく必要がある。学校、地域、企業任せになってはいけないと思う。今後は永住に近い方々として受け入れることになるので、施策にも盛り込むべきではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市内でも外国人就業者を目にすることが多くなった。近隣市でもそうした流入が社会増につながっているケースもあると聞いている。</p> <p>本市でも、外国人の流入が増加すると予想しており、日本語教育の支援などを進めていく必要があるが、就学などに当たっての支援も必要になってくる。個別の取組となるが、資料1の20ページ「04適切な教育機会を確保します」の中に子ども多文化共生サポーターの派遣による児童生徒への日本語教育等を記載している。今後、こうした支援を必要とする人が増えていくことも予想され、引き続き事業</p>

	<p>を推進したい。また、社会の変化に即して、適切に対応していく必要があると考えている。</p>
<p>会 長</p>	<p>就業者やその家族も含めた対応は、ボランティアだけでは難しい時代になりつつある。ただ、御意見に対応する項目の記載は、学校教育分野において位置付けているとのことである。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に御意見はないだろうか。これまでも4回にわたって十分な議論はいただいております、修正箇所についても示されていると思う。</p> <p>特に発言がないようであれば、これでリーディングプロジェクトも含め、基本計画（案）について了承とさせていただきたいと思う。</p>
	<p>< 1 西脇市総合計画・基本計画（案）について > ~(2) パブリック・コメントについて~ 資料2に基づき、事務局から説明</p>
<p>会 長</p>	<p>基本計画（案）のパブリック・コメントの実施について事務局から説明をいただいた。基本構想についても同様に実施したところであるが、基本計画（案）についてもこれに続いてパブリック・コメントを実施するということである。</p> <p>パブリック・コメントの実施について、何か御意見はあるか。</p>
<p>会 長</p>	<p>特に御意見がないようであれば、より幅広く意見を伺うため、事務局の方でパブリック・コメントの手続を進めることとしたい。</p>
	<p>< 2 まちづくり市民アンケートについて > 資料2に基づき、事務局から説明</p>
<p>会 長</p>	<p>今後、指標を設定する上で基準となる市民実感の値を把握するためのまちづくり市民アンケートの実施と、その結果概要について説明していただいた。</p>

	<p>説明にもあったように、このアンケート調査でも高齢者からの回答が多く、若年層からの回答は少ないという傾向があるとのことで、アンケート調査の難しさを改めて感じている。</p> <p>これに関して、御意見・御質問はあるか。</p>
委員	<p>高齢者からの回答が多いとのことだが、例えば子育てや教育に関する項目について、高齢者は今の学校の状況等はわかっていない。選択肢には「わからない」という項目は設計していたのか。そうしなければ、どれを選択してよいかわからない場合がある。</p>
事務局	<p>委員御指摘の懸念もあり、「わからない」の項目を設定している。</p>
事務局	<p>できるだけ回答者の皆さんから、何らかの評価・意思表示をいただけるようにしたいと考えている。</p> <p>結果として、例えば子育ての項目であれば、「わからない」が25%を占めており、御指摘の通りであり、課題であると思う。</p>
委員	<p>「はい／いいえ」の二択ではなく、「やや…」という項目が入ると、回答が難しくなる設問がある。また、健康に関する設問で、我々の会社では毎朝ラジオ体操を実施しているが、それは10分もかからない。そうすると、選択肢のいずれにも該当しないので、結果として運動していないことになる。しかし、それを本当に運動していないとしてよいのか。</p>
事務局	<p>アンケートには御指摘のような問題点が確かにある。回答者全体に占める「そう思う」の比率を算出する際にも「わからない」を母数から除外していないが、そうした前提条件の下でも「肯定的」に捉えている方を増やす取組を進めたいと考えている。</p> <p>例えば、子どもの教育は地域の中で育むことが必要であり、高齢者の持つ知恵や技術などの情報を伝えてもらうことも重要であり、啓発や情報共有などを進めることで、「わからない」の比率を減らすことも大切なことではないかと考えている。</p>

	<p>また、こうしたアンケートを補完する意味で、直接の利害関係者、例えば子育てなら保護者や子どもを対象とした別のアンケート調査の結果などを併用することも検討している。</p> <p>スポーツの「1回30分以上」といった条件は、厚生労働省が示している基準である。これまでは健診などの際に、受診者を対象に調査していたが、西脇市が健康を重要視していることもあり、今回、アンケートで調査することとした。十分な内容ではない項目があるかもしれないが、一つの指標にしたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>数値がどのような意味を持つのかについては、それぞれ検討しているとのことである。</p> <p>他に御意見がなければ、この市民アンケートに関して、審議会として了承とさせていただきます。</p>
	<p>< 3 その他 ></p>
<p>事務局</p>	<p>パブリック・コメントについては、できるだけ多くの方から御意見をいただきたいと考えている。各委員からも関係者等へのお声がけに御協力をお願いしたい。</p> <p>この審議会は今後、あと1～2回程度、年度末に向けて開催したいと考えている。日程は改めて調整し、後日、連絡させていただきます。</p>
<p>会 長</p>	<p>昨年度から開催している審議会もあと数回ということであり、引き続き委員各位には御協力をお願いします。</p> <p>今回、提示された基本計画（案）は、皆さんからの御意見も踏まえて策定されたものである。今後も宜しく願いしたい。</p> <p>以上で本日の会議を終了する。円滑な運営に御協力いただき、感謝する。</p> <p>< 閉会 ></p>

問合せ先	西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014
------	---